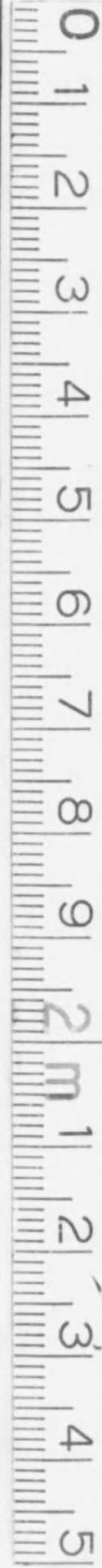


特 252  
720

洪水防禦ニ關スル例規

千葉縣



始



特252  
720



本書ハ昭和十二年八月現在ノ洪水防禦ニ關スル法規其ノ  
他參考ニ資スヘキモノヲ蒐集シ以テ執務者ノ便ニ供スル  
爲之ヲ筆寫ニ代ヘテ印刷ニ付シタリ

昭和十二年八月

### 洪水防禦ニ關スル例規

千葉縣經濟部





目次

一、河川法抜抄……………	一
一、洪水防禦準備ニ關スル件……………	二
一、洪水防禦準備手續……………	三
一、水防委員設置規程……………	五
一、水防委員職務規程……………	六
一、水量報告時刻表……………	一五
一、分區主任復命書様式……………	一八
一、河川施行河川區域表……………	二〇
一、河川法準用河川區域表……………	二〇
一、水防地區々域及水防委員配置調……………	二二
一、堤防破損ノ名稱及防禦ノ方法……………	二七
一、町村制抜抄……………	二八
一、水利組合法抜抄……………	二九
一、刑法抜抄……………	三〇
一、警察犯處罰令抜抄……………	三〇

◎河川法（抜抄）（明治二十九年四月  
法律第七十一號）

第二十三條 洪水ノ危険切迫ナルトキハ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂、竹木其ノ他ノ材料、車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ夫役ヲ命シ又ハ下級公共團體ニ命シテ土地、材料、運搬具、器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等ヲ指揮シテ必要ナル處分ヲナサシムルコトヲ得

地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ニ命シテ豫メ洪水防禦ノ爲ニ必要ナル準備ヲナサシムルコトヲ得

第四十條 第二十三條第一項ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アルトキハ地方行政廳ハ其ノ管内ノ市町村、町村組合若ハ水利組合ニ命シテ其ノ物件ノ價格ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ價格ハ行政廳之ヲ定ム

前項ノ補償ノ手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

◎河川法第二十三條ニ依レル洪水防禦準備

(明治四十一年五月)改正(昭和十一年九月)  
(縣令第三十九號)改正(縣令第三十三號)

河川法第二十三條ニ依レル洪水防禦準備ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 洪水ノ害ヲ受クヘキ處アリト認め特ニ指定シタル市町村及其ノ他ノ公共團體ハ豫メ洪水防禦ノ爲メニ必要ナル材料及器具ヲ準備シ一定ノ場所ニ藏置スヘシ但シ材料中竹木ノ類ニ限り使用場所ヨリ三百間以内ノ地ニ生立スルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二條 前條ノ市町村及其ノ他ノ公共團體ハ急迫ノ場合ニ於テ直チニ使役シ得ヘキ人夫ノ準備ヲ爲スヘシ

第三條 前二條ニ依リ準備スヘキ材料及器具ノ種類數量及藏置ノ場所並人夫ノ員數及其ノ徵集方法ハ豫メ之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ材料及器具及人夫ハ毎年五月三十一日迄ニ之ヲ準備スヘシ

第四條 前條ノ材料及器具ノ一部若ハ全部ヲ使用シタル後仍ホ出水ノ處アルトキハ直ニ之ヲ補充スヘシ

第五條 市町村長及其ノ他ノ公共團體ノ管理者ハ洪水ノ處アルトキハ其ノ吏員ヲ指揮シ第三條ノ材料及器具ノ配置及人夫ノ徵集等洪水防禦ニ關スル應急措置ヲ爲スヘシ

附 則

第六條 本令施行ノ際ニ限り第三條第二項ノ期日ハ七月十日迄トス

◎洪水防禦準備手續 (明治四十一年六月)改正(昭和十一年九月)  
(訓令甲第十四號)改正(縣訓令第十八號)

第一條 市町村長又ハ其ノ他ノ公共團體ノ管理者ハ明治四十一年五月千葉縣令第三十九號第一條及第二條ニ依リ準備スヘキ材料及器具ノ種類數量及藏置ノ場所並人夫ノ員數及其ノ徵集方法ヲ調定セムトスルトキハ豫メ知事ノ指揮ヲ受クヘシ

前項ニ依リ準備ヲ了シタルトキハ遲滯ナク之ヲ知事ニ報告スヘシ

第二條 材料ヲ藏置スヘキ場所ハ堤防延長約六百間乃至千間毎ニ一ヶ所トシ堤防又ハ堤防ニ接シテ之ヲ設置シ材料保存ニ適當ナル設備ヲ爲スヘシ

第三條 生立ノ竹木ヲ以テ藏置ニ代フル場合ニ於テハ其ノ土地ノ角隅ニ左ノ事項ヲ記載シタル標杭ヲ建設スヘシ

洪水防禦ノ準備品タルコト

使用シ得ヘキ材料ノ名稱及數量

市町村又ハ其ノ他ノ公共團體名

第四條 明治四十一年五月千葉縣令第三十九號第三條ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ準備期日前三十日迄ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 準備スヘキ材料器具及人夫其他洪水防禦ノ爲ニ要スル費用ハ毎年度豫算ニ編入スヘシ

第六條 本手續ニ依リ市町村長又ハ其ノ他ノ公共團體ノ管理者ヨリ提出スヘキ書面ハ所轄土木出張所ヲ經由スヘシ

第七條 削 除

第八條 本手續施行ノ年ニ限り第四條ノ期日ハ準備期日前十五日迄トシ第二條ノ藏置場所ハ堤防附近便宜ノ場所ヲ代用スルコトヲ得

◎水防委員設置規程

(明治四十一年七月) (縣令第五十號) (改正) (昭和十一年九月) (縣令第三十四號)

第一條 河川法ヲ施行シ及之ヲ準用シタル河川ニ於ケル左ノ區域ノ洪水防禦ノ爲水防委員ヲ設置ス

東 葛 飾 郡

市 川 市

印 旛 郡

香 取 郡

第二條 水防委員ハ委員長一人、委員次長一人、委員若干人トス

第三條 水防委員長ハ經濟部長、水防委員次長ハ警察部長、水防委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充

ツ

一、經濟部土木課及耕地課勤務ノ官吏及吏員

二、警察部及洪水防禦區域所轄警察署勤務ノ警察官吏

三、特ニ命シタル官吏、吏員及知事ノ囑託シタル者

第四條 官吏タル委員ハ洪水防禦ニ際シ必要ナル場合ニ於テハ河川法第二十三條第一項及第二項ノ處分ヲ爲スヘシ

◎水防委員職務規程

(明治四十一年七月) 改正 (昭和十一年九月)  
訓令甲第二十號) 縣訓令第十九號)

第一條 水防委員長ハ水防事務ヲ掌理ス

水防委員次長ハ委員長ヲ補佐シ委員長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

水防委員ハ委員長ノ指揮監督ヲ受ケ水防事務ニ従事ス

第二條 洪水防禦區域ヲ三區ニ分チ更ニ分區ヲ畫シ水防委員ヲ配置ス其ノ區域及配置ハ別表ニ依ル

第三條 警察署長タル委員ハ委員長ヨリ水防開始ノ通知アリタルトキハ直ニ其ノ所屬吏員タル委員

ヲ水防分區ニ配置スヘシ

第四條 左ニ掲クル水防委員ハ之ヲ水防巡視員トス

地方警視、地方技師、道路主事、道路技師、土木主事及土木技師、洪水防禦區域ノ警察署長及土

木出張所長

特ニ命ヲ受ケタル者

水防巡視員ハ委員長ノ命ヲ受ケ水防區ヲ巡視シ水防分區主任ト協議シ防禦上必要ナル處置ヲ爲ス

モノトス

第五條 水防分區ニ配置シタル水防委員中官吏タル者ノ上席者ヲ以テ水防分區ノ主任トス

水防分區主任ハ其ノ分區ノ水防事務ヲ擔任シ他ノ委員ヲ指揮シテ防禦上必要ナル一切ノ措置ヲ爲

スモノトス

水防分區主任ハ隣接分區ニ危險切迫ナル箇所アリト認ムルトキハ相互援助ヲ爲スヘシ

水防分區主任ハ擔任ノ分區警戒ノ必要ナシト認メタルトキハ直ニ水防委員長ニ報告シテ指揮ヲ受

クヘシ

第六條 水防分區主任ハ左ノ場合ニ於テハ直ニ之ヲ委員長ニ報告シ同時ニ水防區ニ關係アル警察署長、土木出張所長タル委員ニ通知スヘシ

一、防禦ノ必要ヲ生シタルトキ

二、危險ノ虞アルトキ

一、防禦ノ效果アリタルトキ又ハナカリシトキ但シ堤防若ハ樋管ノ破壊シタル場合ニ於テハ其ノ狀況及浸水スヘキ概測反別並家屋ノ數人畜死傷ノ有無

一、水防分區ノ委員配置ニ異動ヲ生シタルトキ

一、其ノ他必要ト認メタル事項

第七條 水防分區ノ水防委員疾病其ノ他ノ事故ニ依リ服務スルコト能ハサルトキハ水防分區主任ノ指揮ヲ受クヘシ

第八條 本規程ニ依ル報告ハ電話又ハ電信ヲ以テスヘシ但已ムヲ得サル場合ニ於テハ脚夫ヲ以テスルコトヲ得

第九條 水防委員ハ左ノ徽章ヲ左腕ニ附スヘシ

巡視員 赤色布幅二寸

分區主任 黄色布同

其ノ他ノ委員綠色布同

第十條 水防分區主任其ノ任務ヲ終リタルトキハ水防ノ概況ヲ記載シタル復命書ヲ作り水防委員長ヲ經テ之ヲ知事ニ提出スヘシ



水防地區及水防委員配置表

第一分水區			水防地區	
第一分區	第二分區	第三分區	分區名	河川名
關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村	關宿町 野田町 江川水害豫防組合 野田町 新江川水害豫防組合 梅郷村 野田町	江川水害豫防組合 馬橋村 松戸町	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村
四、二〇〇米	二、二〇〇米	四、二五〇	堤防延長	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村
五	五	五	配置委員	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村
五	五	五	巡查	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村 川間ヶ瀬村 五點堤塘水防組合 川間ヶ瀬村

第一分水區			
第四分區	第五分區	第六分區	第七分區
市川町 行徳町 南行徳町 浦安町	關宿町 二川村 木間ヶ瀬村	利根川 川間村 利根川水害豫防組合 旭村、福田村	利根川 福田村 利根川水害豫防組合 福田村、田中村
二、一〇〇米	四、二〇〇米	二、九〇〇米	二、〇五〇米
四	五	三	四
四	五	三	四

第二分水防區						
合計	第二分區計	第一分區		合計	第九分區計	第八分區計
		同計	利根川			
一九、九七六	六、二〇七	一〇、九八四	一三、七六九	九八、二〇六	五、九五〇	八、五五六
一四	六	八	三	三八	四	三
一〇	四	六	三	三八	四	三

第三分水防區				
第四分區計	第三分區計	第二分區		第一分區計
		同右岸計	同利根川	
一四、一五二	一七、四七六	一、四一	三、七二六	七、九九七
三	三	五	三	三
四	六	七	四	四

總計	合計	第五分區	北利根川	香北水害豫防組合 (佐原町、新島村)	一七、三八三	一七、三八三
		計	計		一七、三八三	五
					六八、四一九	一九
					一八六、六〇一	七四

備考

一、本表ノ區域及配置人員ハ必要ト認ムル場合ニ於テハ變更若ハ臨時増減スルコトアルヘシ  
 二、電話設置ノ場所及量水標所在ノ水防分區ニハ本表ノ外巡査タル委員一人ツツヲ配置シ水量報告及通信ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

◎水量報告時刻表 (明治四十二年七月) 改正 (大正十二年八月) 訓令甲第十七號 訓令第十二號

川沼名	町村名	量水標所在地	報告時刻	備考
江戸川	關宿町江戸町	Y.P 上四十五尺ニ達シタルトキヨリ	毎一時間 午前六時 午後十二時	Y.P 上四十五尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
江戸川	野田町中野臺	Y.P 上三十二尺ニ達シタルトキヨリ	毎二時間 同	Y.P 上三十二尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
江戸川	新川村深井新田	Y.P 上二十八尺ニ達シタルトキヨリ	同	Y.P 上二十八尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
江戸川	松戸町松戸	Y.P 上二十尺ニ達シタルトキヨリ	同	Y.P 上二十尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
中利根川	關宿町臺町	Y.P 上四十七尺ニ達シタルトキヨリ	毎一時間 同	Y.P 上四十七尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
中利根川	田中村船戸	Y.P 上三十尺ニ達シタルトキヨリ	毎二時間 同	Y.P 上三十尺ハ其ノ量水分ニ相當ス

下利根川	木下町竹袋	y.P上二十二尺ニ達シタルトキヨリ y.P上二十二尺ニ減スルマテ	同	y.P上二十二尺ハ其ノ量水分ニ相當ス
下利根川	安食町安食	y.P上十九尺ニ達シタルトキヨリ y.P上十九尺ニ減スルマテ	同	
下利根川	滑河町猿山	y.P上十四尺ニ達シタルトキヨリ y.P上十四尺ニ減スルマテ	同	y.P上十四尺ハ其ノ量水標ニ相當ス
下利根川	佐原町佐原	y.P上九尺ニ達シタルトキヨリ y.P上九尺ニ減スルマテ	同	
下利根川	同 (荒川)	y.P上九尺ニ達シタルトキヨリ y.P上九尺ニ減スルマテ	同	

備考

一、水防開始ノ上ハ總テ y.P (江戸川基準面) 上ノ水位ニ依リ報告スヘシ y.P 上ノ水位ニ換算スルニハ其ノ量水標ノ水位ニ別表ノ y.P 上量水標ノ零點ノ高ヲ加算スルモノトス

二、木下町竹袋、安食町安食、佐原町佐原、同 (荒川) ノ水位ハ内務省設置ニ係ル量水標ニ依リ

報告スヘシ

y.P 上量水標附近ノ堤防高

量水標所在地	川名	町村名	y.P 上量水標ノ零點ノ高	y.P 上計劃低水位ノ位置	y.P 上附近堤防天端ノ高
江戸川	關宿町	江戸町	三 <sup>尺</sup> 一九八〇	三 <sup>尺</sup> 一五〇〇	五 <sup>尺</sup> 六〇〇
江戸川	野田町	中野臺	二 <sup>尺</sup> 一七四〇	二 <sup>尺</sup> 一四〇〇	四 <sup>尺</sup> 二〇〇
江戸川	新川村	深井新田	二 <sup>尺</sup> 一〇〇	一 <sup>尺</sup> 八五〇〇	三 <sup>尺</sup> 七八〇〇
江戸川	松戸町	松戸	九 <sup>尺</sup> 八〇〇	九 <sup>尺</sup> 〇〇〇	二 <sup>尺</sup> 九〇〇
中利根川	關宿町	臺町	三 <sup>尺</sup> 四五八〇	三 <sup>尺</sup> 四五六〇	五 <sup>尺</sup> 六四四〇
中利根川	田中村	船戸	一 <sup>尺</sup> 八九七一	一 <sup>尺</sup> 九〇八〇	四 <sup>尺</sup> 一九七〇
下利根川	木下町	竹袋	六 <sup>尺</sup> 七一〇	六 <sup>尺</sup> 七一〇	三 <sup>尺</sup> 四八〇〇
下利根川	安食町	安食	〇〇〇〇	四 <sup>尺</sup> 五〇〇	三 <sup>尺</sup> 一七〇
下利根川	滑河町	猿山	三 <sup>尺</sup> 〇六〇	三 <sup>尺</sup> 〇六〇	二 <sup>尺</sup> 六〇〇

下利根川	佐原町 佐原	〇〇〇〇	二五六〇	二一五〇〇
下利根川	同 (荒川)	〇〇〇〇	二六〇〇	二二〇〇〇

◎分區主任復命書樣式

復命書

第何水防區第何分區(何郡何町村)主任

昭和 年 月 日

水防委員到着日時	
到着當時ノ概況	
水防委員ノ配置及其ノ分擔區域	
市町村又ハ組合ノ水防開始ノ狀況	
水防人夫及準備材料ノ實現	

防禦ニ對スル計畫ノ大要		官職	氏	名
通(日時箇所防禦方法及其ノ効果)				
漏(同上)				
龜(同上)				
裂(同上)				
崩(同上)				
決(日時箇所間敷實況及被害)				
水防委員ノ活動狀況				
市町村又ハ組合ノ水防委員及人夫ノ活動狀況				
其ノ他ノ必要事項				
閉鎖引上日時				
千葉縣知事宛				

河川法施行河川區域表(抜抄)

河川	區域	施行期日	府縣名
利根川	左岸 群馬縣勢多郡北橋村大字八崎吾妻川合流點 右岸 同縣群馬郡澁川町吾妻川合流點 以下海ニ至ル	大正六年六月一日	群馬、埼玉、茨城、千葉
派川	右岸 埼玉縣北葛飾郡豐岡村大字西關宿ヨリ同郡八木郷村大字小向ニ至ル	明治三十一年十二月一日	埼玉
	左岸 千葉縣東葛飾郡關宿町大字關宿以下海ニ至ル管轄區域全部	明治三十二年四月一日	千葉
江戸川	右岸 東京府南葛飾郡金町大字金町埼玉縣界以下海ニ至ル管轄區域全部	同年一月一日	東京

河川法準用河川區域表(抜抄)

府縣名	河川名	區域	施行年月日
千葉	横利根川	左岸 香取郡新島村大字大島ヨリ同郡佐原町ニ至ル下利根川ニ合流點迄	明治三十四年一月二十一日

同 北利根川 右岸 香取郡新島村大字大島ヨリ同郡同村大字附洲新田ニ至ル下利根川ニ合流點迄 同

水防地區區域及水防委員配置調

第 二 第	(川 戸 江)	區 分	水防區		分區事務	堤防延長	水防委員數	備 考
			町 村、團體名	區 域				
野 田 町	江 戸 川 水 害 豫 防 組 合	計	關 宿 町	關 宿 町	關宿町 巡查部長 派出所 (野田署)	四、二〇〇米	五	組合管理者 七福村長
			二 川 村	二 川 村		六、四二〇	五	
七 福 村	七 福 村 外 一 町	木 間 川 瀨 村	木 間 川 瀨 村		一、〇五〇	五	右行ハ官吏、吏員、警察官、左行ハ巡查 以下同	
江 戸 川 水 害 豫 防 組 合	江 戸 川 水 害 豫 防 組 合	川 間 村 外 二 ヶ 村 五 駄 堤 塘 水 防 組 合 村	川 間 村 東 金 野 井 字 五 駄 至 川 間 村 東 金 野 井 字 舟 渡 至 川 間 村 東 金 野 井 字 牡 丹 至 川 間 村 東 金 野 井 字 牡 丹 至 七 福 村 岩 名 字 郷 川 岸 至 岩 名 字 本 郷 至 野 田 町 中 ノ 台 字 田 沼 至 野 田 町 中 ノ 台 字 田 沼 至 野 田 町 上 花 輪 字 淺 間 下	二、二八〇 二、〇〇〇 二六〇				
利 根 運 河 株 式 會 社	新 川 村	關 宿 町	關 宿 町					

第一水防區 (川根利)		
第七區分	第六區分	第五區分
計 田中村 江川水害豫防組合 福田村 大字利根川水害豫防組合	計 旭村外一ヶ村利根川水害豫防組合	計 關宿町 二川村 木間ヶ瀬村
自福田村大字三ツ堀 自福田村大字瀬戸 自田中村船戸字早瀬 自田中村船戸字早瀬	自福田村大字三ツ堀 自福田村大字瀬戸 自旭村大字目吹野崎字菩提 自旭村大字目吹野崎字菩提	自川間村大字長谷 自川間村大字小山 自川間村大字船形 自川間村大字船形
河田中村運 河田中村運	川間村役場	木間ヶ瀬 村役場
二、〇五〇 五、六五〇 一、三九〇 三、一八六 七、一九一	六、九〇〇 二、六〇〇 一、四〇〇	一、二、四一〇 四、二〇〇 四、二〇〇 四、〇一〇
四四	三三	五五
組合管理者 福田村長	組合管理者 旭村長	組合管理者 川間村長

第一水防區			
	第四區分	第三區分	區分
合計	市川町 行徳町 南行徳町 浦安町	流山町 馬橋村 松戸町	梅郷村外二ヶ町村 江川水害豫防組合 計 新川村
	市川町 行徳町 南行徳町 浦安町	流山町 馬橋村 松戸町	自野田町上花輪字淺間下 至新川村深井新田字深井 新田 自新川村深井新田字第三區 至新川村下花輪
	行徳町 巡查駐在所 (市川署)	松戸警察署	
五七、一九九	二、一〇〇 四、三七〇 四、〇七八 五、〇四一 一五、五八九	一、七五〇 八、七〇〇 一四、七〇〇	四、四〇〇 五、一〇〇 一四、〇四〇
一一九九	四四	五五	五五
			組合管理者 梅郷村長

水 三 第 (川根利)				
分三第	區分二第	區分一第	區分二第	
津宮村外一町二ヶ 村水害豫防組合 森山村	計 佐原町 東大戸村 瑞穂村 米澤村 神崎町	計 高岡村 滑河町 神崎町	計 長沼水害豫防組合	
津宮村、大倉村、豊浦村 小見川町、利根川右岸 森山村利根川右岸	神崎町神崎本宿陸閣下流 米澤村 瑞穂村 東大戸村 佐原町、利根川右岸	滑河町大字新川下流 高岡村 神崎町神崎本宿陸閣上流	自安食町矢口 至滑河町滑河(以樋)	
豊浦村役場	神崎町役場	滑河町役場	長沼水害豫防組合事務所	
一一、二七〇 一、八〇八	三、二四二 一一四 三〇八 四、〇二一 三、七二六 一一、四一一	七、九九七 二、五七一 三、五二一 一、九〇五	六、二〇七 六、二〇七	
	七五	四三	一〇四	四六 四六
組合管理者 大倉村長			組合管理者 八生村長	

區防水二第			
區分一第	區分九第	區分八第	
計 合印 手賀沼普通水利組 大森町 布佐町 布佐町	計 湖北村 湖北村 湖北村	計 富勢村 我孫子町 茨城縣北相馬郡井 野村小堀水害豫防 組合	
自布佐町布佐字仲町下流 至" " "網代場 至大森町發作 至大森町發作 自大森町發作 至木下町竹袋 至木下町竹袋 自安食町矢口	湖北村中峠字出洲下流 布佐町布佐字仲町上流	富勢村 自我孫子町柴崎字天王谷 至" " "字根城 自我孫子町柴崎字根城 至湖北村中峠字出洲	
木下警察署	湖北村役場	我孫子町 警部補派 出所 (松戶署)	
一〇、九八四 一三、七六九	四一、〇〇七 四四	四、三四〇 四六六 三、七五〇 八、五五六	六八 九九
組合管理者 大森町長 組合管理者 木下町長		組合管理者 井野村長	





五、「決潰」トハ堤防ノ全ク決潰シ堤内ニ浸水スルニ至リタル現象ニシテ防禦ノ効果ヲ奏セサル場合ヲ云フ

◎町村制（抜抄）（明治四十四年四月）  
（法律第六十九號）

第六六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依ル補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

◎水利組合法（抜抄）（明治四十一年四月）  
（法律第五十號）

第五十條 非常災害ノ爲必要アルトキハ組合ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ

現品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スルコトヲ要ス

水害豫防組合ニ於テハ前項ノ外出水ノ爲危險アルトキニ限り管理者警察官又ハ監督官廳ニ於テハ組合區域内ノ總居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第一項土地ノ一時使用ニ關スル組合ノ處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

刑 法 (抜抄) (明治四十年四月  
法律第四十五號)

第二百一十一條 水害ノ際防水用ノ物ヲ隠匿又ハ損壞シ若クハ其ノ他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百二十三條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ破壞シ其他水利ノ妨害ト爲ル可キ行爲又ハ溢水セシムヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若クハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

警察犯處罰令 (抜抄) (明治四十一年九月  
内務省令第十六號)

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

二十七 水火災其ノ他ノ事變ニ際シ制止ヲ肯セスシテ其ノ現場ニ立入若ハ其ノ場所ヨリ退去セス又ハ官吏ヨリ援助ノ求ヲ受ケタルニ拘ラス傍觀シテ之ニ應セサル者

昭和十二年九月十三日印刷  
昭和十二年九月十五日發行

千 葉 縣

千葉市貝塚一九二

印刷者 亘 初 太 郎

千葉市貝塚一九二

印刷所 千 葉 刑 務 所

378  
149

終

